

松ヶ崎コミュニティ・スクール（松ヶ崎小学校運営協議会）

平成19. 3. 発足

京都市立松ヶ崎小学校

京都市教育委員会
 ・学校の指定
 ・委員の任命
 ・指導・助言

学校運営への参画
 教育活動への支援
 基本方針の承認

教育活動の説明
 情報発信
 基本方針の説明

学校運営協議会（理事会）15名

（保護者・地域の代表・京都工芸繊維大学・学識経験者）

（理事長）岩崎猛彦、（副理事長）島 浩之、（理事）北野正彦、岩崎恭輔、三宅照男、村上弘子、北川憲一、岩崎達夫、関口力、中島熙泰、岩澤有徑、岩崎勉、大川洋子、佐々木厚司、服部憲児 <順不同>

企画推進委員会（保護者・地域住民の学校支援ボランティア）

学 び	子ども安全	読 書	広 報	放課後まなび教室
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科学習・総合的な学習の時間の学習支援 ・ 教科外の学習活動支援 ・ 地域の歴史・伝統文化・産業などの学習 ・ 小大連携・地域団体との連携など幅広い学習支援が考えられる。 	松ヶ崎あんしんネット・ワークの取組推進、年間計画企画・立案 <ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども見守隊の活動 ・ ネットワーク通信など ・ 「子どもの安全から地域の安全へ」と発展させる取組 	読書活動の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 読み聞かせの会 ・ 図書室の運営の支援など、本校児童の読書活動を充実させるための活動 	学校運営協議会の広報活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校運営協議会だより「松ヶ崎コミュニティ・ニュース」 ・ 学校評価の取組（学校運営協議会としての学校評価について考え、実施する） 	放課後まなび教室の運営 <ul style="list-style-type: none"> ・ 放課後まなび教室の実施にかかわる計画の立案と運営支援 ・ アドバイザー・サポーターの人材確保に関する支援

企画推進委員会の役割

保護者・地域団体・大学・地域住民の学校理解と教育支援

学 び 企画推進委員会	子どもの学習に関わる活動。教科学習や総合的な学習の時間、学校行事、小大連携、課外学習、クラブ活動、部活動、英語やIT、昔の遊びなどさまざまな子どもの教育活動の支援を企画・推進。 保護者や地域の皆様には、様々な仕事や趣味などの経験から、子どもたちに関わっていただく材料を持っていらっしゃるのだと思います。そうした多様な才能・技能を学校・子どもたちのために生かして、子どもの教育を支援していただくことを求めています。
子ども安全 企画推進委員会	保護者・地域の皆様に「子ども見守隊」の活動を支援していただいています。こうした取組の発展について考えていただき、推進していく委員会です。「子どもの安全から地域の安全へ」がキーワードです。「松ヶ崎あんしんネットワーク」の中心として、子どもの安全と安心・安全のまちづくりを考えます。
読 書 企画推進委員会	子どもの読書活動を支援する委員会です。「読み聞かせ」や本の紹介など様々な活動が考えられます。また、学校の図書室を活用した取組など、集まっていた委員の皆様でいろいろな意見を出し合い、読書活動を企画・推進していただきます。その他、図書室の環境整備などの活動が考えられます。
広 報 企画推進委員会	学校運営協議会や企画推進委員会の活動のようす、学校での取組などを、保護者・地域の方に広報する活動です。「松ヶ崎コミュニティ・ニュース」の発行を行います。 学校評価は、学校運営協議会の機能の一つとして、学校・家庭・地域の取組を評価し、改善のための資料を提供していただくこととなります。具体的な仕事は、コミュニティ・スクールのねらいに沿った評価計画、評価項目の作成、評価の実施、結果の公表などです。
放課後まなび教室 企画推進委員会	本校の放課まなび教室は、平成20年後期より発足。放課後の子どもたちの安全な場の確保と自学自習の学びの場として運営されています。活動場所は図書室。運営スタッフ（学習アドバイザー・学習サポーター）は、地域・保護者、工織大などの大学生の協力を得て運営しています。平成21年度から、これまでの4年生から6年生までの枠をはずし、全学年で実施。こうした地域ぐるみの取組であることから、平成21年度からは、学校運営協議会の一委員会として位置づけています。

※企画推進委員会の委員は、学校の教育活動や子どもの教育に関心のある保護者・地域住民から常時募集。